

鳴立庵 新庵主就任のお知らせ

大磯町有形文化財(建造物)、神奈川県史跡に指定されている鳴立庵(大磯町大磯 1289)鍵和田^{かぎわだゆうこ}袖子庵主の退任に伴い、8月23日(金)、新庵主が就任されましたので、お知らせいたします。

第二十三世庵主 本井 英(もとい えい)氏

【略歴】

昭和20年7月26日、埼玉県生まれ
慶應義塾大学 大学院 博士課程 国文学専攻修了
俳句は高校時代から清崎敏郎に師事
その後、星野立子、高木晴子に師事
平成19年、俳誌「夏潮」創刊主宰。「ホトトギス」、「珊」同人
平成14年から大磯西行祭選者

【鳴立庵概要】



江戸時代初期の1664年に小田原の崇雪^{そうせつ}という人物が、西行の歌「心なき身にもあはれは知られけり鳴立沢の秋の夕暮」にちなみ、昔の沢らしい面影を残す景色の良いこの場所に鳴立沢の標石を建てました。

そして石仏の五智如来像(釈迦・阿弥陀・大日・阿しゅく・宝生の五仏)をこの地に運び草庵を結んだのが始まりです。

その後、紀行家と知られ、俳諧師と

しても有名であった大淀^{おおよど}三千風^{みちかぜ}が鳴立庵第一世庵主として入庵して以来、京都^{らく}の落

柿舎^{ししや}、滋賀^{むみょうあん}の無名庵と並び日本三大俳諧道場として、第二十二世鍵和田庵主へと続いています。庵主は、毎年3月に開催される「大磯西行祭」の献詠作品選考や、鳴立庵句会を主宰します。

◎問い合わせ 産業環境部 産業観光課 観光推進係 内線 334